

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2013.7

vol. 87

新任職員リフレッシュ研修

6月21日（金）8時30分病院玄関前より、研修生を載せたバス一行は蘭牟田池に向かいました。天気はあいにくの雨となりましたが、途中、世界一の水車の前で、記念撮影を行ってから9時50分ごろホテルに到着しました。最初の10時開始による研修では、上別府看護部長の学生から看護師として就職した長い経験の中の講話でした。10時30分からグループワークIリフレクション「就職して印象に残った出来事を語る」のテーマで7グループに分かれて、赤い付箋には嬉しかったこと、青い付箋には苦しかったことをそれぞれ各自が思ったことを書いて模造紙に貼っていく作業を行いました。そして昼食を挟み、13時30分からワークライフバランス「心と体の準備」のテーマの中で、「仕事へのモチベーションを維持する上でも仕事と私生活をバランスよく調和することが大事である」とのお話を渡邊感染管理副看護師長よりしていただきました。14時30分からは当初グランドゴルフの予定でしたが、雨のため室内ゲーム（輪っかゲーム、伝言ゲーム、新聞折りゲーム）に切り替えて楽しみました。



ゲームとはいえ、適材適所による役割分担やコミュニケーションの正確さといった、職場内でのチームワークの重要性を織り込まれたような充実した内容でした。18時30分から花田院長の講話「医療者として目指してきたもの」の中では、「自分も失敗した経験もあるので、失敗を恐れずにチャレンジして下さい」と研修生を激励していただきました。19時からの懇親会では、研修生それぞれが職場単位ごとに趣向凝らした余興を披露していただき、大変盛り上がりしました。

2日目8時30分からは、皆越副院長の講話「自分の目指してきたもの」のお話しの中で、若い学生時代からの経験、心エコーに取り組んできた興味深いお話しが聞けました。9時からのグループワークIIリフレクション「鹿児島医療センターでの体験から気づいた事、自分たちの目指すこと」の中では、前日の模造紙にさらに黄色の付箋に気付いたことを付け加えて、テーマごとに分類し、前日より3グループに加えて10グループが発表いたしました。グループワークの講評では野元医長より、各職場、職種は異なれども横断的なチームワークの大切さを語っていただきました。研修閉講のあいさつとして、今村統括診療部長より、趣味の山登りから「下山さえしなければ、一步一步登りつめてやがて頂上までたどり着くことも出来る」と研修生に希望を持たせていただくお話しでした。

今年からこの新人職員研修は病院行事となり、研修生59名、他職員18名の計77名の大勢の参加となりました。今後とも病院の発展と地域医療への貢献を旗印に、新人職員の育成とスタッフコミュニケーション活性の場の一翼として担っていければと思っております。

（文責：庶務係長 磯部 武嗣）



診療科紹介

当科は平成12年10月1日に開設され本年度で14年目を迎えました。

開設当時、初代速見医長のもと、勤務していた頃を思い出しますと・・・当時は透析コンソールが1台しかなくICUのベット、空いていないときはICUの通路で細々と透析を行っていました。急患の搬入の妨げとなる中、冷たい視線に耐えつつ手で血圧を測りながらの透析でした。入院患者は2～3人しかいませんでしたが、他の患者さんが入院できないため早い退院を促されていたものです。それから数年・・・

現在では日本泌尿器科学会基幹教育施設の認定を受け泌尿器科3人で診療を行っています。速見・仮屋医長はじめこれまで勤務した先生方のご尽力、そして周りのスタッフの方のご協力の結果だと思っています。

外来診療は月・木恒吉・伏谷水・金は恒吉・江浦で担当しています。尿路（腎・尿管・膀胱・尿道）および男性性器（前立腺・精巣・精巣上体・陰茎）疾患全般を対象とし、特に尿路性器に発生した悪性腫瘍の診断と治療を中心に、排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁など）、尿路性器感染症（膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎など）、急性・慢性腎不全、尿路結石症、尿潜血などの診断と治療を行っています。

血液浄化療法は主に月・水・金に行っています。当院での検査・治療を要する維持透析患者や、院内で発生した急性腎不全患者に対する血液透析療法が主たる内容です。

火曜日は午前中から主に全身麻酔下の手術を行い、その他の曜日にも午後より腰椎麻酔下・局所麻酔下の手術、前立腺生検、尿管ステント留置などの検査・治療を行っています。最近では鏡視下の手術やメッシュを用いた女性臓器脱手術も少しずつ手がけています。

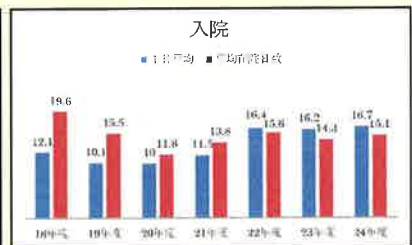
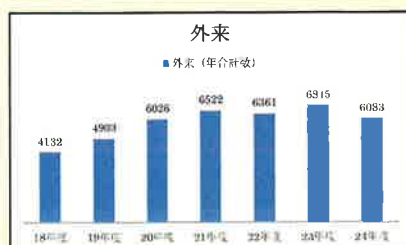
今後もよりよき医療が提供できますよう努力していきたいと思っておりますのでご指導のほど宜しくお願いします。

文責：泌尿器科医長 恒吉 研吾



DPC対象病院の治療実績より抜粋 2011年4月～2012年3月当院退院患者の統計

種類	DPCコードに基づく病名	治療実績			順位
		合計件数	手術あり	手術なし	鹿児島県内 全国
腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	腎腫瘍	13	13	-	3位
	腎盂・尿管の悪性腫瘍	11	-	11	3位
	膀胱腫瘍	81	65	16	2位
	前立腺の悪性腫瘍	160	27	133	3位
	前立腺肥大症等	34	34	-	1位
	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	12	12	-	22位
	腎臓または尿路の感染症	16	-	16	24位



診療ひとくちメモ

川崎病～日本発のエビデンス

川崎病は小児科領域で最も頻度の高い後天性心疾患であることをご存知でしょうか？ 1967年に川崎富作先生が発表された乳幼児に好発する原因不明の血管炎ですが、無治療では25%に冠動脈瘤ができることとされ、第21回川崎病全国調査によると2010年1年間に12,755人の患者が報告されています。

原因は不明ながら、治療は免疫グロブリン大量療法（IVIg：2g/kg/日）のおかげで劇的によりくなりました。同調査では、川崎病と診断された患者の89.5%にIVIg治療が行われ、死亡は1名のみとなっています。ただし20%近く存在するIVIg抵抗患者において、冠動脈合併症が問題とされていました。

そこでIVIg不応因子が検討され、治療抵抗性が予測される場合には最初からステロイドを併用する治療法が提唱されました。2008年9月からは群馬大学小児科の小林徹先生が代表となり、重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・プレドニゾン初期併用療法の効果を多施設共同無作為化比較試験で検討するための臨床試験（Randomized controlled trial to Assess Immunoglobulin plus Steroid Efficacy for Kawasaki disease:RAISE Study）が開始、2012年3月LANCETに論文が掲載され、昔は禁忌とされていたステロイド治療が日本発のエビデンスとして確立されています。

現在では初診時に、血清Na133mmol/L以下、AST100IU/L以上、診断が発熱から4病日以内、好中球80%以上、CRP10mg/dL以上、年齢1歳以下、血小板30万/mm³以下のハイリスク症例はスコア化され、免疫グロブリン・プレドニゾン初期併用療法が当たり前となっています。

遠くない将来、川崎病の予防ができるようになるともったいよいのでしょうか、冠動脈瘤を残したまま成人する方は激減すると期待されます。

文責：小児科医長 田中 裕治

職場紹介

西4階病棟は、血液内科の診療科として、無菌室19床を有する50床の病棟です。

血液・造血器疾患の白血病・成人T細胞白血病・悪性リンパ腫等に対し、主な治療は化学療法・放射線治療・移植などを行っています。また、非血縁者間骨髄移植採取認定施設として、ドナー登録者の骨髄採取を行っています。造血幹細胞移植は、同種・末梢血・臍帯血移植等の治療を行っています。

尚、平成24年度より、移植前の全身放射線照射（TBI）も可能になりました。また平成25年1月から無菌室を19床へ増し、移植の方や易感染状態の方も安心した治療できる環境が整っています。

看護ケアは、化学療法中の全身状態の管理にと共に、副作用による骨髄抑制や易感染状態・出血傾向への対応と輸血管理及び口腔ケアや食事支援と症状ケアを中心とした看護を提供しています。がん化学療法看護認定看護師を中心に、安全・安心・確実な治療支援と副作用への早期対応に努めています。



また、外来看護師と連携をとり、外来でのI・Cに同席し、入院前から患者様や家族の思い・要望等を傾聴し、精神的支援や情報提供を行い、セルフケア支援を行っています。

今後も血液・造血器疾患の患者様が安全・安心して入院生活を送れるよう、チーム医療で支援させていただきたいと思っております。

文責：西4階病棟 看護師長 堂園 文子

新任紹介



腫瘍内科
魚住 公治

4月1日付けで、鹿児島大学病院から異動しました。本院には22年前にまだ8階に内科病棟があった時に勤務していましたので2回目の赴任になります。といっても病院名も変わりましたし建物も変わりましたので、はじめてです、と言った方が正しいかもしれません。担当は腫瘍内科ですが、鹿児島県では、はじめての診療科です。私は、血液内科で血液悪性腫瘍（特にATL）を専門にしていた化学療法屋ですが、大学の旧2内科出身ですので、消化器・呼吸器その他の癌も昔から治療していました。10年前から腫瘍内科の診療を始めましたが、すべての癌の内科的治療をする、がモットーです。多少量が立っていますが、癌の患者さんの治療に少しでもお役に立てるように努力しますので、どうぞ宜しくお願いします。



脳神経外科
谷口 歩

4月から脳神経外科にて勤務させて頂いております。数年前に1年間勤務しており、当時と同じ風景もあり懐かしさを感じることもありますが、大分変わっている部分も多々あり、中々慣れません。何かとご迷惑おかけしますが、今後ともよろしくお願ひ致します。



脳神経外科
森 正如

平成25年4月より脳神経外科にて勤務させて頂いております。7年程前にも一度、当院にて勤務しておりましたが、当時は建物のいたるところで改修工事等が行われており、現在の状態とすると様子も異なっておりました。また、現在は電子カルテも導入されており、機械相手に苦労している毎日です。脳卒中、脊椎脊髄疾患等の診療をおこなっております。今後ともよろしくお願ひいたします。

鹿児島医療センター 平成25年度 がん看護エキスパートナース研修公開講座のご案内

今年度も、鹿児島医療センターでは、地域がん診療拠点病院として、がん医療の均てん化や、より質の高い看護実践ができる看護師の育成を目的に、9月17日（火）～9月26日（木）、7日間のがん看護エキスパートナース研修を企画しております。つきましては、この研修の全講義をオープン参加とし、地域の医療職、看護職員の多くの皆様にも参加していただけたらと考えております。1講座から受講を受け付けており、いくつでも無料で受講できますので是非参加していただきたいと思います。

月 日	日 時	場 所	講 義 内 容	講 師
9/17 (火)	9:15 ~ 10:45	鹿児島医療センター1研修棟3階	がんの疫学・病理学	臨床病理科医長
9/17 (火)	10:50 ~ 12:00		腫瘍学	腫瘍内科部長
9/17 (火)	13:00 ~ 14:30		がんの診断と治療：血液内科領域がん	血液内科医
9/17 (火)	14:35 ~ 16:05		がん集学的治療：外科的治療	外科医長
9/18 (水)	8:30 ~ 9:30		がん患者・家族の相談支援/退院支援	社会福祉士
9/18 (水)	9:30 ~ 10:30		コミュニケーションスキル	臨床心理士
9/18 (水)	10:35 ~ 12:30		がん疼痛マネジメント・チームアプローチ	がん性疼痛看護認定看護師
9/18 (水)	13:30 ~ 14:30		がんリハビリテーション	リハビリテーション科医長
9/18 (水)	14:35 ~ 16:05		がんの診断と治療：頭頸部がん	耳鼻咽喉科部長
9/19 (木)	8:30 ~ 9:30		家族看護	がん化学療法看護認定看護師
9/19 (木)	9:30 ~ 10:45		化学療法副作用マネジメントと安全管理	がん薬物療法認定薬剤師
9/19 (木)	10:50 ~ 12:00		化学療法看護	がん化学療法看護認定看護師
9/19 (木)	13:00 ~ 14:30		がんの診断と治療：泌尿器科がん	泌尿器科医長
9/19 (木)	14:35 ~ 16:05		がんの診断と治療：婦人科がん	産婦人科部長
9/19 (木)	16:10 ~ 17:15		がんの診断と治療：消化器科がん	消化器内科医長
9/20 (金)	8:30 ~ 9:30		緩和ケア	緩和ケア認定看護師
9/20 (金)	9:30 ~ 10:30		意思決定支援・がん医療における看護倫理	緩和ケア認定看護師
9/20 (金)	10:35 ~ 12:30		事例検討 JONSEN 4分割	がん分野認定看護師
9/20 (金)	13:30 ~ 14:40		がん集学的治療：放射線治療	放射線科部長
9/20 (金)	14:45 ~ 16:10		放射線療法看護	がん放射線療法看護認定看護師
9/24 (火)	9:00 ~ 12:00		特別講演 患者中心の症状マネジメントと看護ケア	兵庫県立大学看護学部教授内布 敦子 先生
9/26 (木)	13:00 ~ 14:40	がん治療と口腔ケア	歯科口腔外科医長	

参加希望期日・講座名・施設名・参加者名をご記入の上FAXでお申し込み下さい。(申込締め切り9月2日)

参加申し込み先：鹿児島医療センター 教育担当師長：中村 千鶴 宛 FAX 099-226-9246

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域医療連携室】 蘭田・四丸・永重・重吉・森・吉留・山口・酒井・櫻木・竹田津

直通電話▶099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

